

## 提出された主な意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名：武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）

募 集 期 間：令和5年7月15日（土）～令和5年8月7日（月）

意見等提出件数：172件（提出者171名）

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>武蔵五日市駅前市有地の活用に向け、本計画を策定し、実行して欲しい。武蔵五日市の駅前開発について賛成である。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容については、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
2	<p>武蔵五日市駅前市有地の活用について、市民等への説明会（公聴会）を早急に開催して欲しい。市民等から意見や要望を聞き、合意形成を図って欲しい。市民委員を公募した「検討委員会」を設置し、公開の下で検討して欲しい。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
3	<p>地場産の物（お土産）が買えるところがあると良い。五日市の物産品、特産品等を販売して欲しい。野菜、みやげ物、特産品等の販売所を作って欲しい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容については、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観</p>

		光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
4	武蔵五日市駅前市有地は、取得から30年以上が経過している。市有地は、秋川流域及びあきる野市の重要な拠点（観光の玄関口）であることから、秋川流域及び五日市地域の活性化に向け、速やかに武蔵五日市駅前活用計画を実現して欲しい。施設を早く作って欲しい。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
5	休憩が出来る（おむつ替えや授乳可）ようにして欲しい。子供がいても日陰で休めるようなスペースがあると良い。シャワー設備を完備して欲しい。シャワールームやロッカー、更衣室、手や足を洗える場所があれば良い。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容については、今後、施設の設計において検討していきます。
6	「(五日市) 憲法草案」や「五日市の地学、自然史」を計画の中に取り入れて欲しい。一定のスペースを設け、「五日市憲法草案」と「地質・自然史」など五日市の魅力を分かりやすく発信するコーナーを作って欲しい。	五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。 武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。
7	拙速な結論はやめてもらいたい。「JR五日市線創業100周年・あきる野市制30周年」に当たる2025年4月運営開始とのことだが、2023年9月から計画が進められたとして1年半であり、あまりにも短期間での取組であり、活用の「実」が伴うのか疑問である。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。

8	<p>カフェ、食事処があると良い。飲食店があると良い。フードコート（地元店出店）があると良い。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容については、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
9	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、文章量が多いにも関わらず、十分な広報がされず、意見の募集期間も3週間程度であり、パブリックコメントは形式的なものではないか。パブコメで意見を提出しても反映されないくらい計画が進んでいる。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。</p>
10	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画案の取りまとめや同市有地の活用は、特定の人の手によって進められているのではないか。同計画案には、「五日市まちづくり協議会」及び「駅前から五日市の魅力を発信する会」の要望書等が掲載されているが、前者の要望は受入れられ、後者の要望は全く無視されている。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、市が主体的に取りまとめたものであります。</p>
11	<p>駅前には、公園など誰でも通える場所が良い。公園が良い（大きな木のある）。幼子を安全に遊ばせられる公園が良い。公園と生態系が良い。五日市地域の自然魅力を凝縮したようなイベントも出来る公園が良い。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容については、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
12	<p>武蔵五日市駅前市有地に整備する施設は、武蔵五日市駅等に訪れた方が、思わず立ち寄りたくなるような外観（ファサード）とする必要がある。</p> <p>施設の外観は、豊かな自然を有する五日市地域と調和し、威圧感の無い温もりが感じられるレトロ様式のもが良い。五日市らしい雰囲気建物が良い。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地に整備する施設の詳細な内容については、今後、施設の設計において検討していきます。</p>

13	<p>財政が厳しい中、緊急性のない武蔵五日市駅前市有地の活用を税金を使わないで欲しい。</p> <p>市有地に来てから情報を探すことを前提としている建物の建設には反対したい。</p> <p>市民への説明や市民からの意見集約、議会における徹底した議論がない中で取りまとめられた武蔵五日市駅前活用計画は白紙撤回すべきである。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>また、市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p> <p>また、議会における審議・議決を踏まえ、市有地活用に係る予算を適切に執行していきます。</p>
----	--	--